

高経年マンションの団地再生に向けて

建替えによらない団地再生方針を決定した

淀川パークハウスの事例等から探る取り組みの進め方



全国的に高経年マンションが増加し、建替え等の合意形成が困難になるなか、維持管理の適正化や再生に向けた取り組みの強化が喫緊の課題となっています。

2000年代に入り、区分所有法改正をはじめ、マンションに関する法律の制定や改正が行われ、高経年マンションの再生にとっては追い風が吹いています。

しかしながら、現場では法律が制定・改正されたことで、安易に建替えできる、建替えこそが最善の策だという誤認、誤解によって、混乱が生じているという現実もあります。

我が住まいである分譲集合住宅の未来をどのように描いていけばよいのか、そこにある課題とは？

995戸の団地で「修繕・改修による団地再生方針」を決定した淀川パークハウスの事例紹介と現地視察を中心に、建替えマンションやUR賃貸住宅の再生事例などのお話も伺い、集合住宅の明るい未来への選択肢について考えるためのフィールドワークを開催します。

開催概要

日時	2024年7月13日(土) 14:00~17:00(雨天決行)
集合場所	淀川パークハウス 管理棟(S棟)前 (大阪市旭区太子橋3丁目2-8) 地下鉄谷町線守口駅から徒歩7分
定員	20名(先着順)
参加費	都市計画学会員(含む賛助会員)・ 学生:無料 非会員:500円

プログラム

13:30 受付

14:00 講演

パークすまいるプロジェクトの紹介
(淀川パークハウス管理組合 北川拓哉氏)建替えマンションの事例紹介
(合資会社ゼンクリエイト 根津昌彦氏)UR賃貸住宅の再生事例紹介
(UR都市機構西日本支社 田邊豪二氏)

※全体コーディネーター(根津昌彦氏)

参加者との意見交換・質疑応答

16:00 現地見学

17:00 解散

※解散後に懇親会を予定(自由参加:費用別途)

申込方法

Peatix (<https://kansaikikaku20240713.peatix.com/view>)

- ①氏名、②所属、③年齢(現地見学の際の保険加入に必要)
- ④連絡先(電話、メールアドレス)
- ⑤会員(会員番号)もしくは非会員の別
- ⑥講演者への質問事項

上記を入力の上、7月6日(土)までにお申込みください。

※いただいた個人情報は保険申込に使用します。

このフィールドワークは「都市計画CPD」認定プログラムです。

当日連絡先: cmt_plan@cpij-kansai.org

担当: 山北 080-3754-2569

